

FX NEWS PRESS

2026年
8 月号

2026年8月4日発行
FXニュースプレス
(No.236)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel: 03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

当局による為替介入を
巡る思惑に要注目

【各種掲載のご案内】

- ▶ HP内でもFX NEWS PRESSや週間のテクニカルレポートWeekly Reportsを公開！
- ▶ FXやコモディティ、株価指数の市場情報を日々更新！マーケットコメントで公開！

詳しくはホームページをご覧ください

 AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

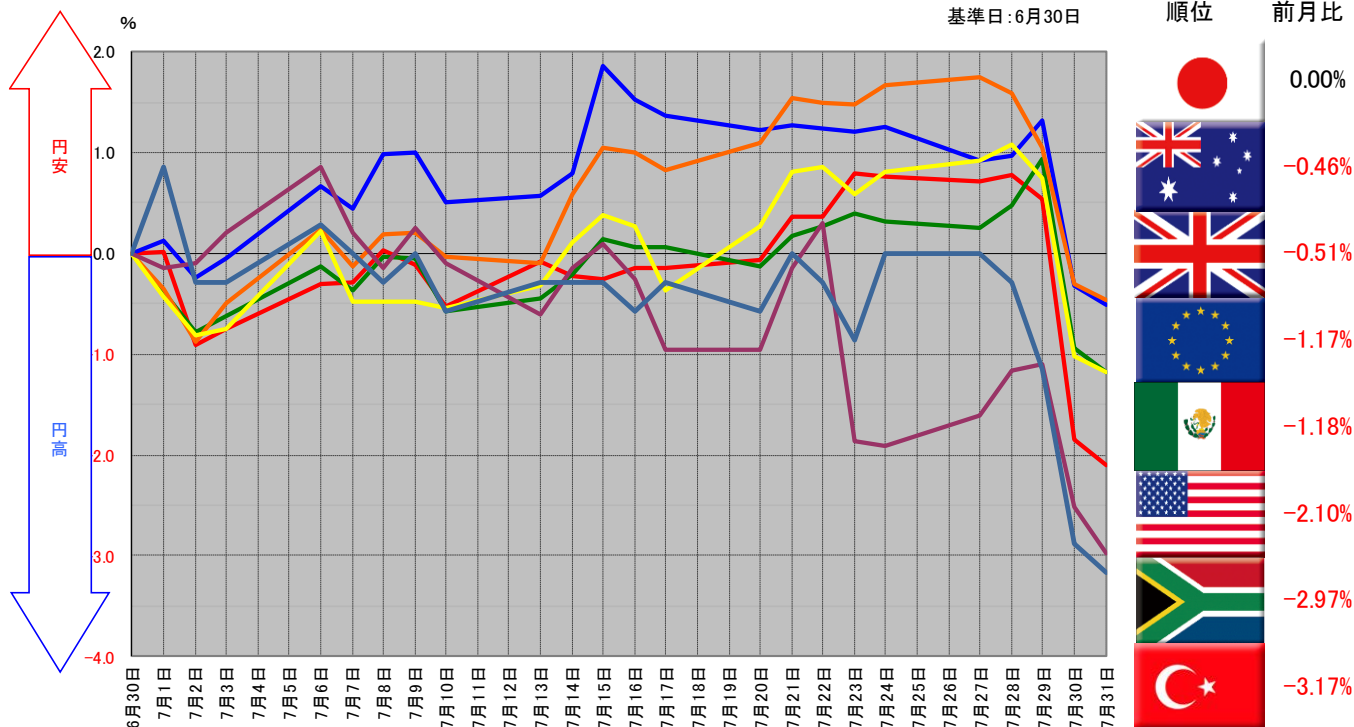
AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

米ドル円 (基準値: 162.595) ユーロ円 (基準値: 185.7) ボンド円 (基準値: 215.6) 豪ドル円 (基準値: 112.495)
ペソ円 (基準値: 9.3) ランド円 (基準値: 9.925) トルコ円 (基準値: 3.47)

7月31時点評価

順位 前月比

基準日: 6月30日



7月2日 米雇用統計

米労働省が発表した6月雇用統計では非農業部門雇用者数が前月比5.7万人増と予想の11.3万人増を下回ったほか、過去2カ月分の数値が下方修正されたことから、米連邦準備理事会(FRB)が7月に利上げに踏み切るとの観測が後退し、米長期金利の低下とともにドル売りが先行。一時160.64円と日通し安値を付けた。売り一巡後は、米国の3連休を控えたポジション調整の動きに終始し、161.00円を挟んでもみ合いに転じた。

7月6日 日本の財政悪化懸念

政府が6月末に示した経済財政運営と改革の基本方針「骨太の方針」原案で、日本の財政悪化への警戒感が広がる中、一部文言が日銀による追加利上げをけん制しているとの見方が台頭。6月の米雇用統計が予想外に弱い内容となったことから、FRBの早期利上げ懸念は和らいだものの、市場は依然として年内の追加利上げを織り込んでいる。こうした中、円売り・ドル買いが先行。一時162.43円と日通し高値を更新した。

7月8日 NZ中銀政策金利

ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は政策金利のオフィシャルキャッシュレート(OCR)を25ベースポイント引き上げて2.50%とした。声明でインフレが依然として目標を上回っていると指摘。経済活動の拡大が見込まれることから、金融緩和策のさらなる縮小が必要となる可能性が高いとしている。タカ派声明を受けNZドルは急伸。対ドルで0.4%高、NZドル円は92.70円台まで上昇した。

7月10日 片山財務相発言で円急伸

ゴト一日(5・10日)の仲値後から強まった売りの流れが継続。その後、片山さつき財務相が閣議後の記者会見で、GPIFなど年金基金による国内金融資産への投資拡大を促す施策の検討を進める考えを明らかにした。これを受けて、海外資産の比率を下げて国内資産を増やすとの思惑から円買いが活発化。161.64円で一旦下げ止まったものの、11時頃から再びドル売り・円買い圧力が強まると161.29円まで下げ足を速めた。

7月14日 米消費者物価指数

米労働省が14日発表した6月の米消費者物価指数(CPI)は前年同月比3.5%上昇、変動の激しい食品とエネルギーを除いたコア指数は同2.6%上昇と、ともに市場予想を下回る内容だった。これを受けて、米連邦準備制度理事会(FRB)による早期利上げを巡る過度の警戒が和らぎ、米長期金利が低下。日米金利差の観点から円買い・ドル売りの流れが強まり、21時30分過ぎに一時161.63円と日通し安値を更新した。

7月16日 FRB高官のタカ派発言

ローガン米ダラス連銀総裁は「インフレは持続的に2%へ帰帰する軌道にはないようだ」「現時点で緩やかな利上げを行う方が、後になつて急激な利上げを迫られるより望ましい」と話した。また、シュミッド米カンザスシティ連銀総裁は「インフレは幅広い財・サービスにおいて根強く続いている」と語ったことから、年内の利上げを織り込むドル買いに拍車がかかり、162.55円と日通し高値を付けた。

7月20日 米・イランの対立激化

イエメンの親イラン武装組織フーシ派はサウジアラビア関連船舶が紅海とアラビア海を往来するのを阻止すると発表した。これを受け、エネルギー供給混乱を巡る不安が一段と強まり、原油先物相場が再び上昇。米長期金利の上昇も重なり、円売り・ドル買いの流れが継続し、一時162.60円と日通し高値を付けた。ただ、1日に付けた1986年12月以来の高値162.84円がレジスタンスとして意識されるとやや上値が重くなった。

7月23日 南ア中銀政策金利

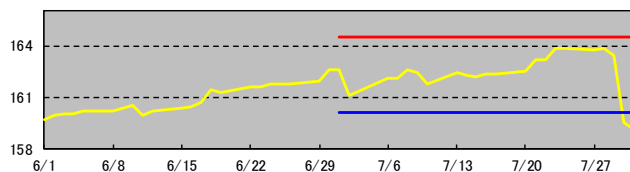
南アフリカ準備銀行(SARB、中央銀行)はこの日、金融政策決定会合で政策金利を現行の7.00%で据え置くことを決めた。市場では0.25%の利上げが予想されていただけに、発表後は全般ランド売りが優勢となった。南ア・ランドは、対ドルで16.43ランドから16.80ランドまで下落。5月5日以来のランド安となった。また、ランド・円は9.94円から9.75円まで下落し、およそ1カ月ぶりの円高・ランド安となった。

7月29日 FOMC政策金利

28、29両日に開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)では、政策金利の据え置きが決定された。市場参加者の大方は政策金利の据え置きを見込んでいたものの、一部では7月の政策会合で利上げが決定されるとの観測が浮上していたことや、ウォーシュFRB議長の発言を受けて、FRBの金融政策を巡る不透明感が高まると一転ドル売りが優勢となり、一時163.23円と日通し安値を更新した。

ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
160.10	164.50



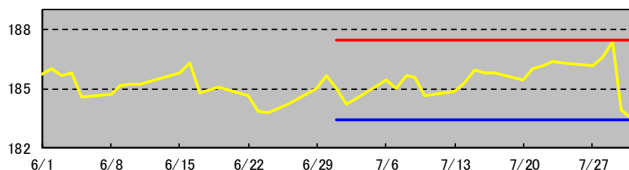
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジを下抜けた。

ユーロ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
183.40	187.50



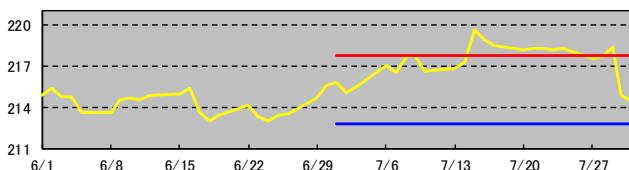
逆張り方針 評価【○】

コメント

予想レンジ内で推移した。

ポンド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
212.80	217.80



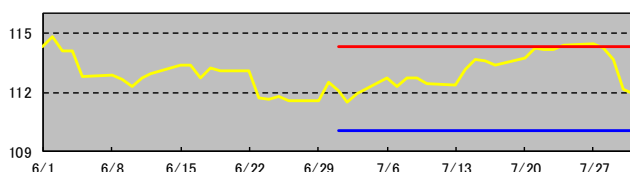
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジを上抜けた。

豪ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
110.10	114.30



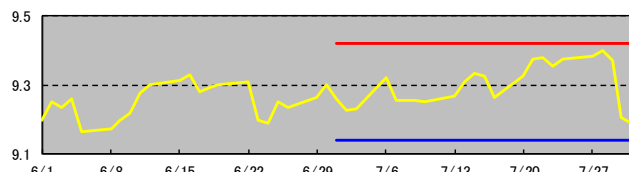
逆張り方針 評価【○】

コメント

予想レンジ内で推移した。

ペソ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
9.14	9.42



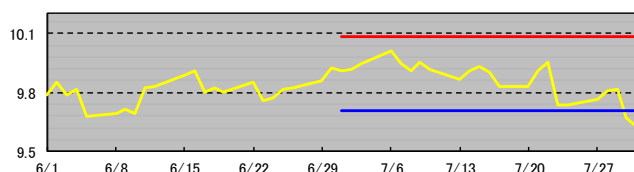
逆張り方針 評価【○】

コメント

予想レンジ内で推移した。

ランド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
9.71	10.08



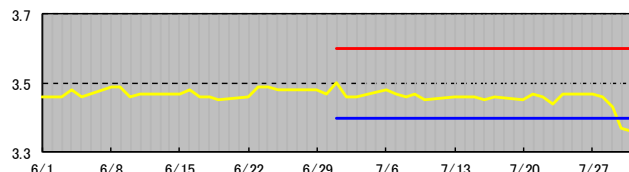
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジを下抜けた。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
3.40	3.60



逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジを下抜けた。

2026年3月2日～2026年7月31日

米ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)

メイン
シナリオ 70%

実線は、実体部分の長い陰線(大陰線)を付け、上値の重い動きとなっています。また、中期のトレンドを示す89日移動平均線を割り込み、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(160.38)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、2/23安値(154.00)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(154.00)を下抜けた場合。この場合は25/10/29安値(151.53)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/3 22:45	7月製造業PMI		53.8	★★
8/3 23:00	7月ISM製造業景気指数		53.3	★★
8/5 23:00	7月ISM非製造業景況指数		54.0	★★
8/7 21:30	7月失業率		4.20%	★★★
8/12 21:30	7月消費者物価指数(前年比)		3.50%	★★
8/13 21:30	7月生産者物価指数(前年比)		5.50%	★★
8/14 21:30	7月小売売上高(前月比)		0.20%	★★
8/21 22:45	8月製造業PMI、速報値		3.50-3.75%	★★
8/21 22:45	8月サービス部門PMI、速報値			★★
8/26 21:30	第2四半期実質国内総生産、改定値(前期比年率)			★★

<相場の格言>大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)



2026年3月2日～2026年7月31日

ユーロ/円 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)

メイン
シナリオ 70%

実線は、実体部分の長い陰線(大陰線)を付け、上値の重い動きとなっています。また、長期のトレンドを示す200日移動平均線を割り込み、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(184.18)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、25/11/11安値(178.02)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(178.00)を下抜けた場合。この場合は25/11/5安値(175.71)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/3 17:00	7月製造業PMI		52.0	★★
8/5 18:00	6月生産者物価指数(前年比)		5.90%	★★
8/6 18:00	6月小売売上高(前年比)		1.60%	★★
8/13 18:00	6月鉱工業生産(前年比)		-1.20%	★★
8/14 18:00	第2四半期域内総生産、改定値(前年同期比)		-0.40%	★★
8/19 18:00	7月消費者物価指数(前年比)		0.80%	★★
8/21 17:00	8月製造業PMI、速報値		2.40%	★★★
8/28 18:00	8月経済信頼感			★★
8/28 18:00	8月消費者信頼感(確定値)			★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ
↑ 214.80円
↓ 207.60円



2026年3月2日～2026年7月31日

ポンド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、実体部分の長い陰線(大陰線)を付け、上値の重い動きとなっています。また、中期のトレンドを示す89日移動平均線を割り込み、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(214.79)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、2/18安値(207.67)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(207.60)を下抜けた場合。この場合は25/11/24安値(205.00)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/3 17:30	7月 製造業PMI		52.8	★★
8/6 17:30	7月 建設業PMI		38.4	★★
8/13 15:00	6月 月次国内総生産(前月比)		0.1%	★★
8/13 15:00	第2四半期国内総生産(前年同期比)		0.9%	★★
8/13 15:00	6月 鉱工業生産(前年比)		1.00%	★★
8/18 15:00	7月 失業率		4.4%	★★★★
8/19 15:00	7月 消費者物価指数(前年比)		2.60%	★★
8/21 15:00	7月 小売売上高(前年比)		4.2%	★★
8/21 17:30	8月 製造業PMI、速報値			★★

＜相場の格言＞群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)

2026年3月2日～2026年7月31日

豪ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)

メイン
シナリオ 70%

実線は、実体部分の長い陰線(大陰線)を付け、上値の重い動きとなっています。また、中期のトレンドを示す89日移動平均線を割り込み、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(112.49)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、2/13安値(107.70)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(107.70)を下抜けた場合。この場合は1/20安値(105.92)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/6 10:30	6月貿易収支		-30.18億AUD	★★
8/11 10:30	7月NAB企業景況感指数		3	★★
8/11 13:30	豪中央銀行政策金利		4.35%	★★★★
8/12 10:30	第2四半期賃金指数(前期比)		0.8%	★★
8/18 9:30	8月ウエストパック消費者信頼感指数		83.9	★★
8/20 10:30	7月新規雇用者数		7.63万人	★★
8/20 10:30	7月失業率		4.40%	★★★★
8/26 10:30	7月消費者物価指数(前年比)			★★
8/27 10:30	第2四半期民間設備投資(前期比)		6.50%	★★

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 9.270円
↓ 8.850円



2026年3月2日～2026年7月31日

メキシコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、実体部分の長い陰線(大陰線)を付け、上値の重い動きとなっています。また、中期のトレンドを示す89日移動平均線を割り込み、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(9.270)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4/1安値(8.850)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(8.850)を下抜けた場合。この場合は1/8安値(8.690)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/3 24:00	7月製造業PMI		51.3	★★
8/6 28:00	メキシコ中銀政策金利		6.50%	★★★★
8/7 21:00	7月消費者物価指数(前年比)		3.37%	★★
8/11 21:00	6月鉱工業生産(前月比)		-0.80%	★★
8/24 21:00	第2四半期国内総生産、確定値(前年同期比)		2.20%	★★
8/27 21:00	7月失業率		2.90%	★★★★
8/27 21:00	6月貿易収支		40.90億USD	★★

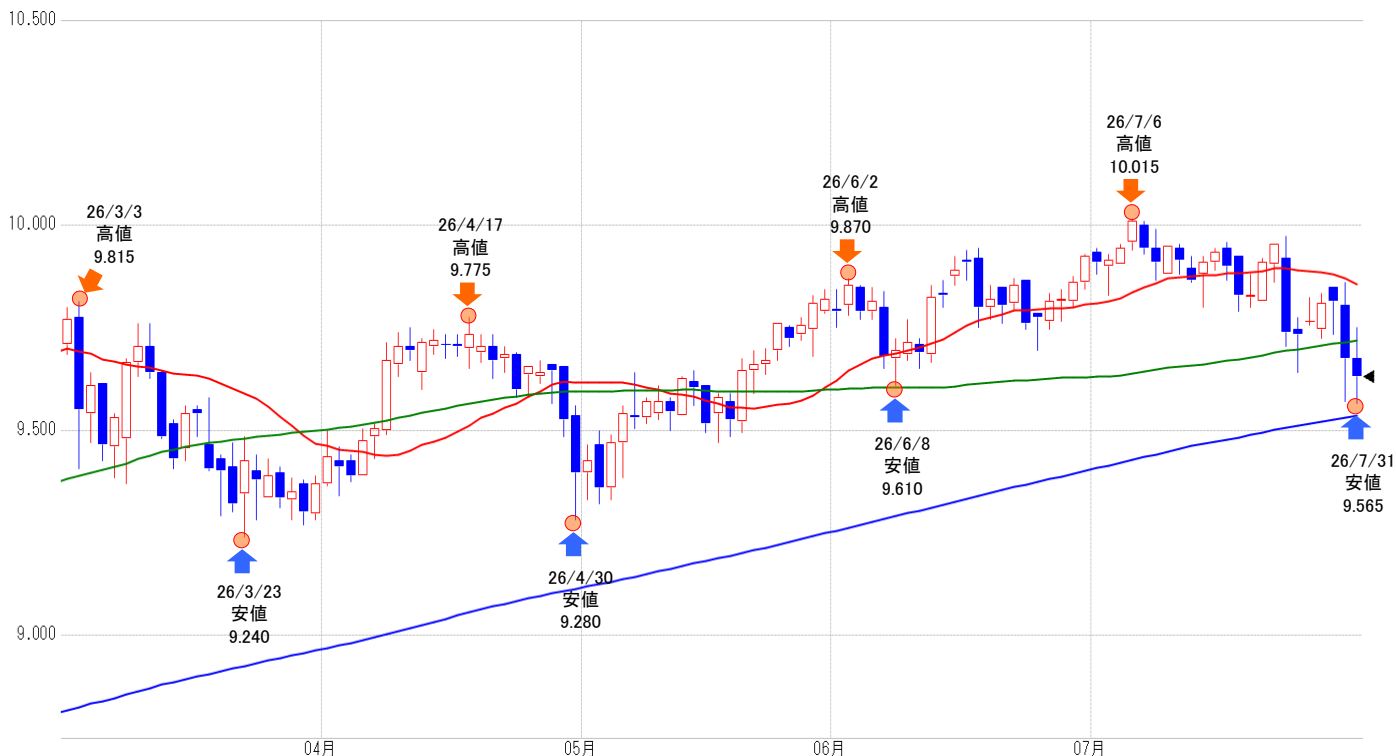
<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)



2026年3月2日～2026年7月31日

ランド/円【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、実体部分の長い陰線(大陰線)を付け、上値の重い動きとなっています。また、中期のトレンドを示す89日移動平均線を割り込み、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(9.795)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、4/30安値(9.280)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(9.280)を下抜けた場合。この場合は25/12/4安値(9.085)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
8/7 21:30	カナダ	7月失業率		6.50%	★★★
8/11 18:00	南ア	第2四半期失業率		32.70%	★★★
8/17 8:50	日本	第2四半期実質国内総生産、速報値		1.80%	★★
8/17 8:50	カナダ	7月消費者物価指数(前年比)		2.80%	★★
8/19 17:00	南ア	7月消費者物価指数(前年比)		5.00%	★★
8/21 8:30	日本	7月全国消費者物価指数(前年比)		1.70%	★★
8/28 21:30	日本	7月失業率			★★★
8/28 21:30	カナダ	6月月次国内総生産(前年比)			★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

予想レンジ ↑ 3.50円
↓ 3.10円



2026年3月2日～2026年7月31日

トルコ/円 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、中期のトレンドを示す89日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また、21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。21日移動平均線(3.45)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(3.11)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(3.10)を下抜けた場合。この場合は7月の値動きから導き出した計算値の下限(2.98)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/3 16:00	7月製造業PMI		47.1	★★
8/3 16:00	7月消費者物価指数(前年比)		32.11%	★★
8/10 16:00	6月鉱工業生産(前月比)		-2.90%	★★
8/13 16:00	6月経常収支		-14.6億USD	★★
8/28 16:00	7月貿易収支		-104.0億USD	★★
8/31 16:00	7月失業率		7.6%	★★★
8/31 16:00	第2四半期国内総生産(GDP)(前年比)		2.50%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

2026年3月2日～2026年7月31日

ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)

メイン
シナリオ 70%

実線は、6/26安値(1.1355)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日・89日移動平均線は上昇、200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが窺え、レンジ内の動きが予想されます。6/2高値(1.1655)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(1.1402)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(1.1400)を下抜けた場合。この場合は25/5/30安値(1.1316)を試す展開が考えられます。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
25年	8月	4,725円	2,234円	5,773円	2,421円	4,668円	4,013円	823円	-22.61ドル
	9月	4,871円	2,351円	6,036円	2,588円	4,788円	3,995円	767円	-23.14ドル
	10月	5,336円	2,642円	6,841円	2,882円	5,318円	4,681円	779円	-24.19ドル
	11月	4,444円	2,349円	5,882円	2,480円	4,510円	4,210円	721円	-18.25ドル
	12月	5,538円	3,256円	7,578円	3,312円	4,897円	4,384円	879円	-21.36ドル
26年	1月	3,906円	2,101円	5,362円	2,412円	3,976円	4,075円	761円	-16.47ドル
	2月	3,723円	1,982円	5,124円	2,506円	3,997円	3,962円	718円	-16.09ドル
	3月	4,145円	2,493円	6,412円	3,333円	4,706円	4,833円	859円	-19.34ドル
	4月	4,835円	2,302円	5,915円	3,351円	4,551円	4,452円	941円	-15.95ドル
	5月	3,507円	1,863円	4,888円	2,885円	3,807円	3,796円	752円	-16.32ドル
	6月	4,066円	2,259円	5,545円	3,353円	4,309円	4,713円	814円	-15.70ドル
	7月	4,298円	2,495円	5,892円	3,425円	4,632円	4,992円	754円	-15.66ドル
	計	53,394円	28,327円	71,248円	34,948円	54,159円	52,106円	9,568円	-225.08ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)



AI ゴールド証券

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:AIゴールド証券1枚あたり片道0円。媒介口座1枚あたり片道220円(税込)。媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり1,390円～87,310円(2026年8月3日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員